

令和6年度
二戸市立福岡中学校
学校だより
第1号

永遠の躍進

発行日 R6. 4. 5
発行者 校長 中野 善文
二戸市福岡字下川又22-1
Tel 23-3325

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

共に学び 共に高め合う 幸福の岡
～ 通いたい・通わせたい学校 ～

よろしくお願いします

この4月に、久慈市立山形中学校から着任した校長の なかの よしふみ **中野 善文** と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。上に掲げた「共に学び 共に高め合う 幸福の岡」は、令和6年度の目指す学校像です。今年一年、この学校像の達成を目指し、教職員全員で力を合わせ頑張る参ります。

【自己紹介】「わたしと福岡中学校」

【幸福の岡】「みんなの幸福度を高めます」

わたしが福岡中学校（以下福中）に勤務したのは、平成4年から同10年までの7年間お世話になりました。当時は、若いことだけが取り柄で、生徒と一緒に遊んだり、時にはぶつかり合ったりしながら、たくさんの学びと感動をいただきました。ただし、指導技術は未熟だったため、知・徳・体の生きる力をどれだけ育てられたかについては、反省すべき点があります。この反省をもとに、先生方には、「研鑽を積んで指導力を高め、生徒の力を伸ばしましょう」と自戒の念を込めて指導しました。福中を離れた後は、3人の子どもがお世話になり、保護者として関わりました。そのときも、福中生の活躍や頑張りからたくさんの感動をもらい、福中に勤務したこと、子どもが福中で学んだことを誇りに感じました。その後、行政職を10年務め、遠野西中学校・山形中学校の校長を経て、25年ぶりに福中に戻ってきました。

教職人生の最後を思い出深き福中で勤務できること、恩返しの機会をいただけたことに感謝しています。どうか保護者の皆様におかれましてはお力添えをお願いいたします。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、ようやく日常の生活を取り戻しましたが、その影響は、教育現場にも影を落としているように感じられます。三密を避け、人との距離を置いたことで、人間関係づくりやコミュニケーションに困難さを感じている生徒も少なくないようです。また、巣ごもりといわれる生活様式が、意欲の低下や忍耐力の低下につながったのではないかと心配されます。

そこで、今年度は仲間との関わりを大切に、「共に学び 共に高め合う」ことで、生徒及び教職員それぞれの幸福度が高められることを願っています。

また、その実現のためにわたしたち教職員は、「生徒を主語」にした授業改善や「自己存在感・共感的人間関係・自己決定」を大切にした生徒指導等に力を尽くしていきたいと考えています。



福中生を見守るシンボル「三葉の松」校章

「永遠の躍進」バトンは78代生徒会に受け継がれました